



あ が
と き

阪神・淡路大震災からはや2年が過ぎました。

まだ、いたる所に空き地や仮設住宅はみられますが、少しずつ活気をとりもどしています。「がんばろう神戸」のかけ声のもと、ブルーウェーブも日本シリーズで優勝し、ヴィッセル神戸もJリーグ入りをはたしました。

平成7年1月17日5時46分。看護職員の一人一人がかつてない体験をしその恐怖と不安が続く中で看護業務に励みました。地震直後から専門職として最大限の力を発揮した看護婦達の体験を綴った記録集を、「阪神・淡路大震災 看護婦の活動と体験の記録」という題で発行しました。

この本は、その記録集を全国の小・中学生用にダイジェスト版としてまとめなおしたものです。この本にとりあげた体験記は記録集の中の323題の体験記の中から11題を抜粋しました。一人でも多くの皆さんに読んでいただければ幸いです。発刊に際し、ご教示をいただいた神戸大学発達科学部鈴木正幸先生に深く感謝致します。また、この機会を与えていただいた文部省高等教育局医学教育課の皆様にも深く感謝致します。

